

(第6版)

環境活動レポート

平成25年7月1日～平成26年6月30日



株式会社ひかり造園

平成26年7月14日 作成

目次

1. 事業概要	P 3
2. 環境方針	P 4
3. 環境目標	P 5
4. 環境活動計画書	P 6
5. 環境への負荷の実績	P 7
6. 環境活動の取り組み結果	P 8
7. 環境関連法規への違反訴訟等の有無	P 9
8. 環境活動の取り組み結果の評価	P10

1. 事業概要

事業所名及び代表者名

株式会社ひかり造園 代表取締役社長 栗田富好

所在地

〒420-0839

本社：静岡市葵区鷹匠三丁目10番3号

倉庫：静岡市葵区足久保口組地内

認証登録範囲

建設工事業（土木一式工事、とび・土工・コンクリート工事、石工事、
ほ装工事、造園工事）

環境管理責任者及び担当者連絡先

責任者 営業部次長 渥美 武

担当者 造園緑化部門 辻 豊

緑地維持管理部門 大石 隆丸

土木森林部門 高部 昇

営業部門 渥美 武

連絡先 TEL 054-253-6508 FAX054-253-7605

E-mail hikari-gk@katnc.ne.jp

URL <http://www.hikari-zoen.com/>

事業内容

総合建設業 静岡県知事許可(特-21)第4333号

資本金 24,000,000円

造園緑化部門 造園工事、石工事

維持管理部門 造園維持管理

土木森林部門 土木一式工事、舗装工事、とび・土工・コンクリート工事

廃棄物収集運搬 許可番号 第02201161340号

事業規模

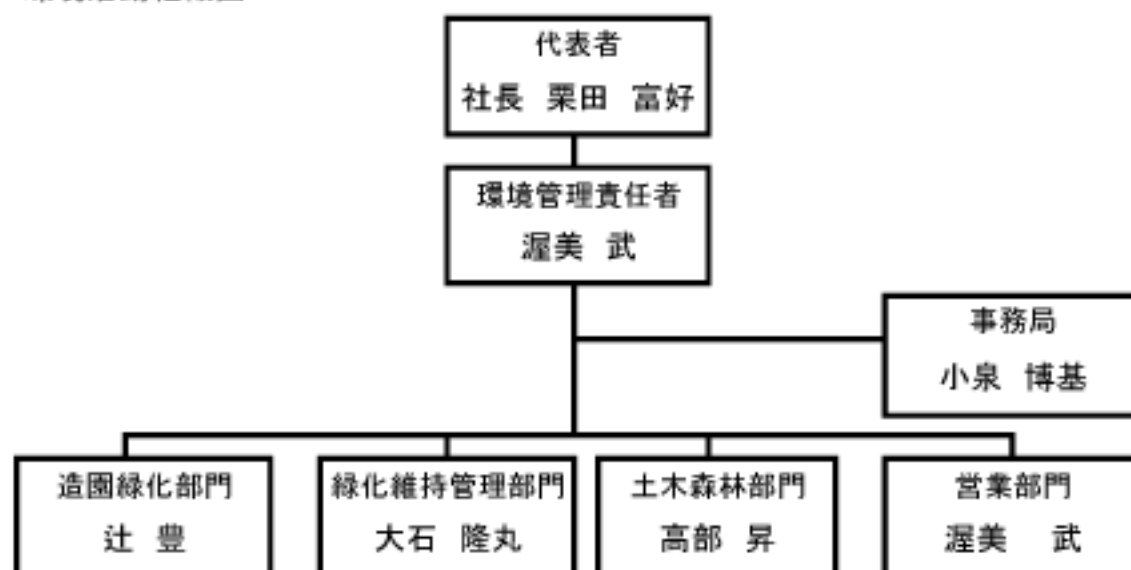
売上高・・・263,724(千円) 工事件数・・・244件

従業員数・・・11人 車両台数・・・2台

敷地面積・・・事務所 157.05㎡ 倉庫18.56㎡

決算月・・・6月

環境活動組織図



株式会社ひかり造園

環境方針

<環境理念>

《環境理念》

私たち株式会社ひかり造園は、総合建設業を環境産業と位置づけ、その事業活動を通じて、優しく美しい近隣の自然、大きくは地球環境を守るために、緑化や森林整備を推進し、積極的な環境保全及び環境創造取組みに貢献します。

<環境保全への行動指針>

《基本方針》

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

①二酸化炭素排出量の削減（低炭素社会への対応）

- ・電力（工場、事務所）
- ・自動車燃料（営業車、トラック）

②廃棄物の削減及び再資源化の推進（循環型社会への対応）

- ・一般廃棄物（可燃ごみ）
- ・産業廃棄物（廃プラ、廃油）

③排水量の削減（水資源の保全）

- ・一般水道水

④環境活動の推進

緑化推進事業・グリーン購入・地域での環境活動への積極的な参加

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日：2009年10月20日

改定日：2012年 7月22日

代表取締役社長

栗田 富好

作成日：平成26年7月14日

3. 環境目標(中期目標)

(事務所及び現場)

項目	単位	基準年	削減目標3%	削減目標6%	削減目標9%
		平成24年度 (H23.7~H24.6)	平成25年度 (H24.7~H25.6)	平成26年度 (H25.7~H26.6)	平成27年度 (H26.7~H27.6)
二酸化炭素排出量	kg-Co2	47,839	46,404	44,968	43,533
電力使用量	KWH	22,749	22,066	21,384	20,701
ガソリン使用量	ℓ	16,914	16,406	15,899	17,119
軽油使用量	ℓ	—	—	—	—
コピー用紙使用量	kg	444	430	417	404
水使用量	m3	197	90	88	84
一般廃棄物排出量	kg	377	365	354	343
環境活動の推進					
・緑化推進事業	本	10	10	10	10
・環境保護活動への協力	回	1	1	1	1
・グリーン購入	%	100	100	100	100

4. 環境活動計画書

	目 標	目的達成手段	責任部門	確認事項
	方針に掲げた取り組み目標と整合 環境負荷の自己チェックより設定	環境への取り組みの自己チェックより計画	責任者	
二酸化炭素排出量削減	1. 電力使用量の抑制 基準年度実績 平成24年度 8,599 kg-co2 平成26年度目標 8,083 kg-co2 基準年度比 94% 削減率 6% 平成27年度目標 7,825 91%	①空調設備の適温化 冷房20℃、暖房20℃ ②照明管理 昼休み等不要時の消灯 ③OA機器の管理 未使用時電源OFF	営業部 次長	電気使用量の実績対比を公表
	2. 燃料使用量の抑制 基準年度実績 平成24年度 39,240 kg-co2 平成26年度目標 36,886 kg-co2 基準年度比 94% 削減率 6% 平成27年度目標 35,709 91%	①アイドリングストップ 駐停車時のアイドリングをストップ ②加減速の少ない運転 交通状況に応じた運転 ③不要な荷物は積まない 車内の整理整頓	使用者 全員	燃料使用量の実績対比を公表
廃棄物排出量の削減	3. 紙使用量の削減 基準年度実績 平成24年度 444 kg 平成26年度目標 417 基準年度比 94% 削減率 6% 平成27年度目標 404 91%	①紙の両面使用 特に理由が無い限り両面印刷 ②裏面の使用 社内資料における裏面使用	営業部 次長	紙使用量(購入量)の実績対比を公表
節水	4. 水使用量の削減 基準年度実績 平成24年度 197 m ³ 平成25年度目標 87 基準年度比 41% 削減率 59% 平成27年度目標 84 40%	①本社事務所・現場事務所での節水 垂れ流し使用の厳禁	営業部 次長	水使用量の実績対比を公表(二ヶ月ごと)
廃棄物排出量の削減	5. 一般廃棄物排出量の削減 基準年度実績 平成24年度 377 kg 平成26年度目標 354 基準年度比 94% 削減率 6% 平成27年度目標 343 91%	①不要なものを持ち込まない 特に理由が無い限り持ち込まない ②リサイクルの活用 再利用できるか否かの再確認	営業部 次長	一般廃棄物量(kg)の実績対比を公表
環境活動の推進	6. 環境活動の推進	①緑化推進事業(10本) 樹木・草花の植栽(社有地等) ②環境保護活動への協力(1回以上) ボランティア活動への参加 ③グリーン購入(100%) エコマーク商品の積極的活用	使用者 全員	

5. 環境への負荷の実績

当社における過去3年間の負荷の実績は以下のとおりです。

(事務所及び現場)

項目	単位	平成21年度実績 (H20.7～H21.6)	平成22年度実績 (H21.7～H22.6)	平成23年度実績 (H22.7～H23.6)	平成24年度実績 (H23.7～H24.6)	平成25年度実績 (H24.7～H25.6)
二酸化炭素排出量	kg-Co2	57,179	55,931	47,661	47,868	37,746
電力使用量	kwh	35,719	33,576	23,345	22,749	19,897
ガソリン使用量	ℓ	19,813	18,624	16,740	16,914	13,028
軽油使用量	ℓ	—	—	—	—	—
コピー用紙使用量	kg	499	378	378	43	34
水使用量	m3	102	34	34	201	40
一般廃棄物排出量	kg	—	456	—	377	499
工事件数	件	221	221	248	253	268

6. 環境活動の取り組み結果

作成日：平成26年7月14日

(事務所及び現場)

基準年度より6%削減

項目	単位	目標値	2013年						2014年						期間合計	目標値対比	達成度
			7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月			
二酸化炭素排出量	kg-CO2	44,968	2,978	3,720	3,324	3,884	3,225	3,666	3,375	3,518	3,347	2,968	2,741	3,020	39,766	11.5%削減	○
電力使用量	KWH	21,384	1,778	1,881	1,502	1,325	1,785	2,221	2,521	2,365	1,643	1,309	1,212	1,271	20,813	2.6%削減	○
ガソリン使用量	ℓ	15,899	994	1,297	1,188	1,458	1,099	1,218	1,044	1,131	1,175	1,066	984	1,095	13,749	13.5%削減	○
軽油使用量	ℓ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
コピー用紙使用量	kg	417	44	20	44	28	44	20	24	44	24	20	20	24	356	14.6%削減	○
水使用量	m3	88	3	2	3	3	4	4	5	5	2	2	3	2	38	56.8%削減	○
一般廃棄物排出量	kg	354	47	51	57	71	57	72	51	70	100	93	56	45	770	117.5%増加	×
産業廃棄物排出量	m3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
環境活動の推進																	
・緑化推進事業	本	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	
・環境保護活動への協	回	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	4	—	△
・グリーン購入	%	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	—	

※電力使用量のCo2排出係数は中部電力の0.378を継続して使用

7. 環境関連法規への違反訴訟等の有無

作成日：平成26年7月14日

					確認者	
環境法規制等の名称/略称	規制内容			実施	文書・記録	確認
	届出・作業等	適用範囲	適用条件	手続き・遵守事項		
建設業						
建設業法	特定建設業の許可	建設工事	工事1件5百万円以上の工事	有効期間 平成22年1月7日から平成27年1月6日	許可番号 静岡県知事許可(特-21)第4333号	○
廃棄物処理・リサイクル						
廃棄物処理法	産業廃棄物の委託処理	産業廃棄物	汚泥、廃プラ、建設木くず、建設紙くず、建設繊維くず、がれき類、コンクリート破片など	①委託先の許可確認	・業者の許可証の確認 ・処理場等の現地確認	○
				②委託契約の締結 ③契約書の保存(5年)	・委託契約書の内容の確認	○
				①マニフェストの交付義務	・適合マニフェストを使用	○
	廃棄物の処理	廃棄物	現場保管又は仮置場	②マニフェストの回収・照合 ③契約書の保存(5年)	・マニフェスト管理台帳にて管理	○
				野外焼却の禁止	・現地確認	○
			積み上げ高さの厳守	・現地確認	○	
再生資源利用省令	土工事、外構工事等	指定副産物:建設発生土、コンクリート塊、アスファルト塊の利用		再生資源利用計画書の作成	・計画書の利用確認	○
				再生資源利用計画書の保存		○
建設リサイクル法	工作物に関する工事	改修工事	特定建設資材	・発注者へ書面による計画等説明 ・再資源化等の促進 ・再生資源の使用	・発注者への計画等説明書と完了報告書 ・下請負者への告知	○ ○
建設リサイクル法	特定家庭用機器の排出	特定家庭用機器	テレビ、冷蔵庫	・小売店に料金を支払い引き渡す又は自治体指定方法で引き取り依頼	・領収書	○
大気汚染						
排出ガス対策型建設機械普及促進規定		協力会社の持ち込み建設機械など	バックホウ、トラクタショベル、発動発電機等	・排出ガス対策型であることの確認	・指導	○
騒音・振動						
騒音規制法	杭打ち機、びょう打ち機、削岩機、空気圧縮機等を使用する作業	特定建設作業、適用指定地域		早朝・夜間、日曜、祝日の作業自粛	・市町村へ事前確認 ・届出書	○
振動規制法	杭打ち機、びょう打ち機、削岩機、空気圧縮機等を使用する作業	特定建設作業、適用指定地域		早朝・夜間、日曜、祝日の作業自粛	・市町村へ事前確認 ・届出書	○
水質汚染(排水)						
下水道法	公共下水への排水	公共下水への排水	汚水を公共下水に排出する場合	・公共下水道管理者にあらかじめ届け出	・届出書	○
河川法	河川への排水	河川への排水	汚水を河川に排出する場合	・河川管理者にあらかじめ届け出	・届出書	○

①毎年7月に法規制内容の見直し確認を実施し、今回は2月に実施確認結果、違反は有りませんでした。

②過去3年間にわたり、関係機関からの指摘及び利害関係者からの訴訟等も有りませんでした。

8. 環境活動の取り組み結果の評価・次年度の取組内容

項目	評価
使用電力量の抑制	<p>職員全員に対し節電の認識を深めた事により、不要電気機器の電源スイッチを切ることができたり、会議室と打ち合わせ室を独立のLEDに替えたことにより、職員の節電意識が高まった。</p> <p>また、エアコンの設定温度を28℃厳守していた効果が現れ目標対比2.6%減の削減が出来た。</p> <p>今後もより一層全社員が協力し使用量の削減に努めたい。</p>
燃料使用量の抑制	<p>今期は特に経済運転の励行と不要な荷物を積まないことを徹底した。</p> <p>その結果目標対比13.5%の削減が出来た。</p> <p>今後も経済運転の徹底と、不要不急の車輛使用を控え使用量の削減を計る。</p>
紙使用量の削減	<p>裏面使用と両面コピーの徹底により目標対比14.6%の削減が達成できた。</p> <p>しかし、まだまだ印刷ミスや片面印刷が多数あるのでプレビュー機能を活用する等の事前確認を行い、より削減できるよう努める。</p> <p>また、より一層不要コピー等の削減に努める。</p>
水使用量の削減	<p>水使用量は殆どがトイレ使用であり社内業務を行う人数により左右されるが、今回も56.8%と大幅な削減が出来た。</p> <p>今後も垂れ流し使用をしない等を徹底しより一層の削減に努める。</p>
一般廃棄物排出量	<p>残念ながら目標に大きく及ばなかった。</p> <p>今後の大きな課題として全社で取り組んでいく必要がある。</p> <p>この為、社員への再教育を実施する。</p>
環境活動の推進	<p>緑化推進活動については、目標値を設定したが未達成になってしまった。</p> <p>小さな親切運動静岡県本部の小さな親切運動等のボランティアに参加した。</p> <p>グリーン購入については、100%達成ができ、今後も継続する。</p> <p>今後、当社の特性を生かした独自の環境活動を立案し実施する。</p>